



「なわとび集会」をしました。

1月28日(火)1限目に、全校で「なわとび集会」をしました。まず、開始のあいさつがあり、司会者から「なわとび集会」のルール説明がありました。その後、各グループ(6グループ)でチャレンジタイムが始まるまで練習があり、3回のチャレンジ(1回3分間)がありました。チャレンジの時間では、5,6年生の子が、1,2年生の子に跳ぶタイミングを声で伝えたり、そっと背中を押して合図している姿が見られました。とても微笑ましい光景でした。よく見ていると、5,6年生の子が低学年の子たちが跳びやすいように、ひざを曲げて縄を回していたり、地面すれすれに縄をはわせるようにしたりしているグループもありました。とてもあたたかい気持ちになりました。

上級生が下級生のことを思い、ほのぼのとした時間を過ごせたことが何よりも良かったです。下級生は上級生のやさしさやあたたかさを感じ、うれしい気持ちになったことと思います。縦割り競技の良さを実感できた時間となりました。



創立150周年準備委員会が行われました。

1月30日(木)夜、本校会議室において、創立150周年準備委員会が行われました。①2月18日(火)、19日(水)に行われる在籍児童による記念作品制作の概要について ②記念式典当日の式次第や式典の内容について ③4月に児童撮影予定の航空写真の人文字について、などが話し合われました。人文字については、創立150周年の「150」を人文字でつくろうということになりました。記念式典プログラム「水沢小学校の思い出」については、水沢小学校出身の地域住民の方々の中から、世代別に数名の方に話をさせていただくことになりました。式典当日は「思い出のスライド」を流すので、その写真に合わせて当時の様子を語っていただく予定です。水沢小学校の新6年生(現5年生)にも「水沢地区への思い」を、代表の複数人で卒業式の呼びかけ風に語ってもらうことになりました。



会議後は、「思い出のスライド」に入れる写真を、創立101年目から148年目の卒業アルバムの中から選び、付箋をつけていきました。準備委員会のメンバーによってマクロ撮影がなされ、掲載写真が整理されていく予定です。

「薬物乱用防止教室」を行いました。(6年生)

1月31日(金)、本校の学校薬剤師が「薬物乱用防止教室」の授業を行いました。「薬の正しい使い方」がテーマでした。薬には、①病気を治す、②病状を和らげる、③体を健康にするという効果があります。薬で病気が治るかと思ったら、そうでもない場合もあります。もともと体には病気やケガを自分で治す力(自然治癒力)があり、その力が大きいようです。薬には、①錠剤 ②粉薬 ③シロップ ④塗り薬があり、「お茶で薬を飲んだらどうなるか」「うがい薬にビタミンCを混ぜるとどうなるか」について、ちょっとした実験を見せていただきました。お茶に薬の成分を入れる実験では、混ぜると色が真っ黒になったり、うがい薬にビタミンCの入ったジュースを入れる実験では、色が透明になったりしました。赤っぽい色のうがい薬が透明になった時には、子どもたちから驚きの声があがっていました。薬の使用方法を誤ると、薬の効き目がなくなってしまうことが実験からよくわかりました。「カプセルを水なしで飲むとどうなるか」についても質問がありました。何人かの子どもたちは、「水なしで飲んだことがある」と、反応していました。水と一緒に飲まない、効かせたい箇所に薬が届かず、のどで成分が止まったりして効果がないことを伝えていただきました。



「栄養ドリンクを小学生が飲むのはどうか」や「薬を飲む量」についても話をさせていただきました。一番効果があるのは、①薬局の薬剤師さんに聞くこと ②実際にお医者さんに診てもらって薬を出してもらうこと、だそうです。

授業の後は、教室の二酸化炭素濃度、室内の気温、湿度について、専用の測定器を使って調べていただきました。

(文責 北住 昌文)